

みらかホールディングス株式会社
2019年度（2020年3月期）
第1四半期 業績概況

2019年 8月 8日

※ 本資料では、記載している部分及びEBITDAの数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。

※ 本資料では、「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」と省略する場合があります。

※ 本資料では、数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

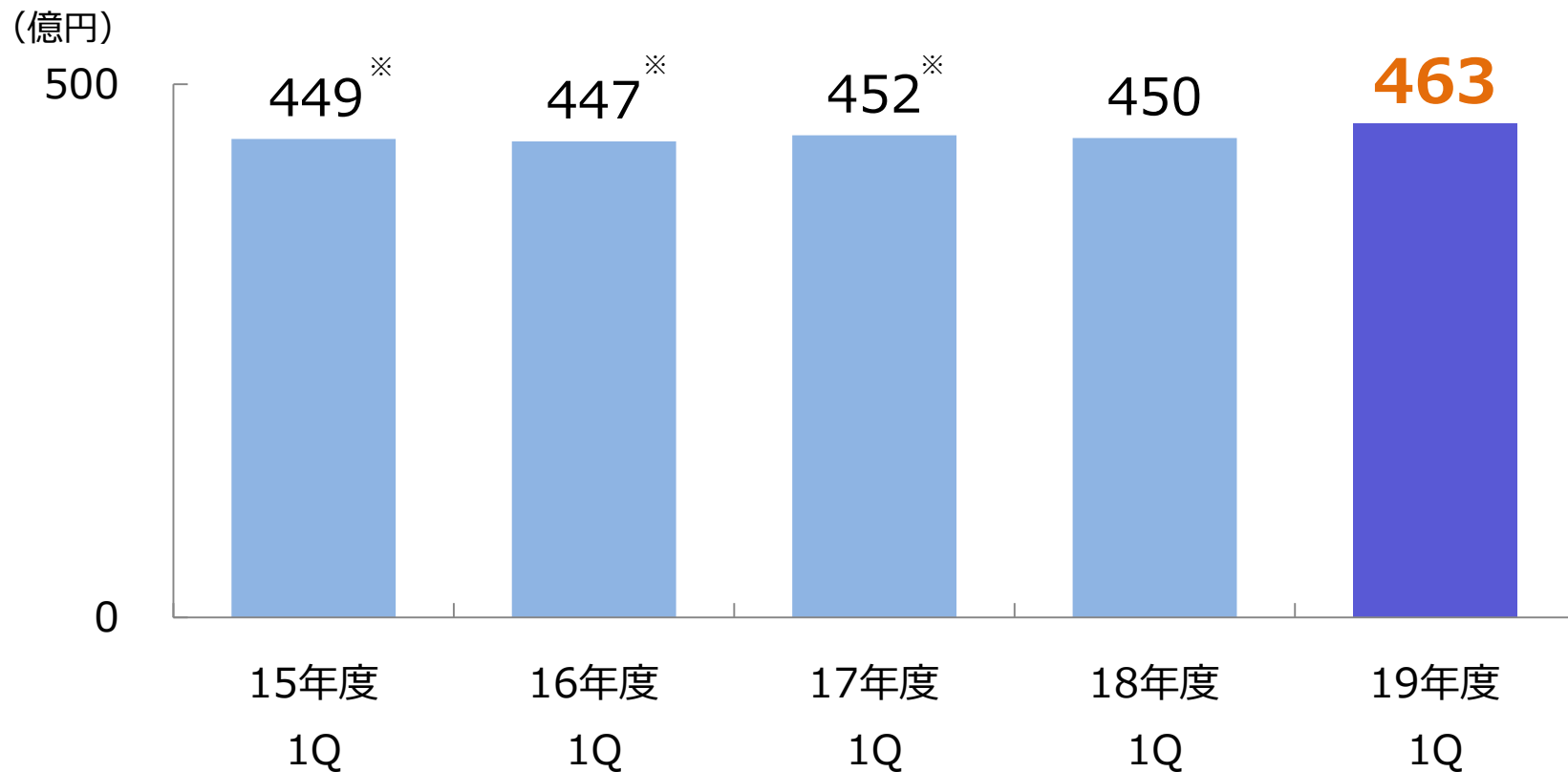
※ 各事業名については以下のとおり省略する場合があります。

CLT : 受託臨床検査事業 IVD : 臨床検査薬事業
SR : 滅菌関連事業 ENB : 新規育成事業及びその他

※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2018年度1Q : 1USD = 109.08 JPY 1EURO = 130.06 JPY
2019年度1Q : 1USD = 109.90 JPY 1EURO = 123.48 JPY

連結売上高 推移



※ 海外CLTを除く

連結売上高 対前年同期比較

(億円)

500

400

450

+16.8

-11.1

+4.2

+3.0

+0.1

463

18年度
1Q

CLT

IVD

SR

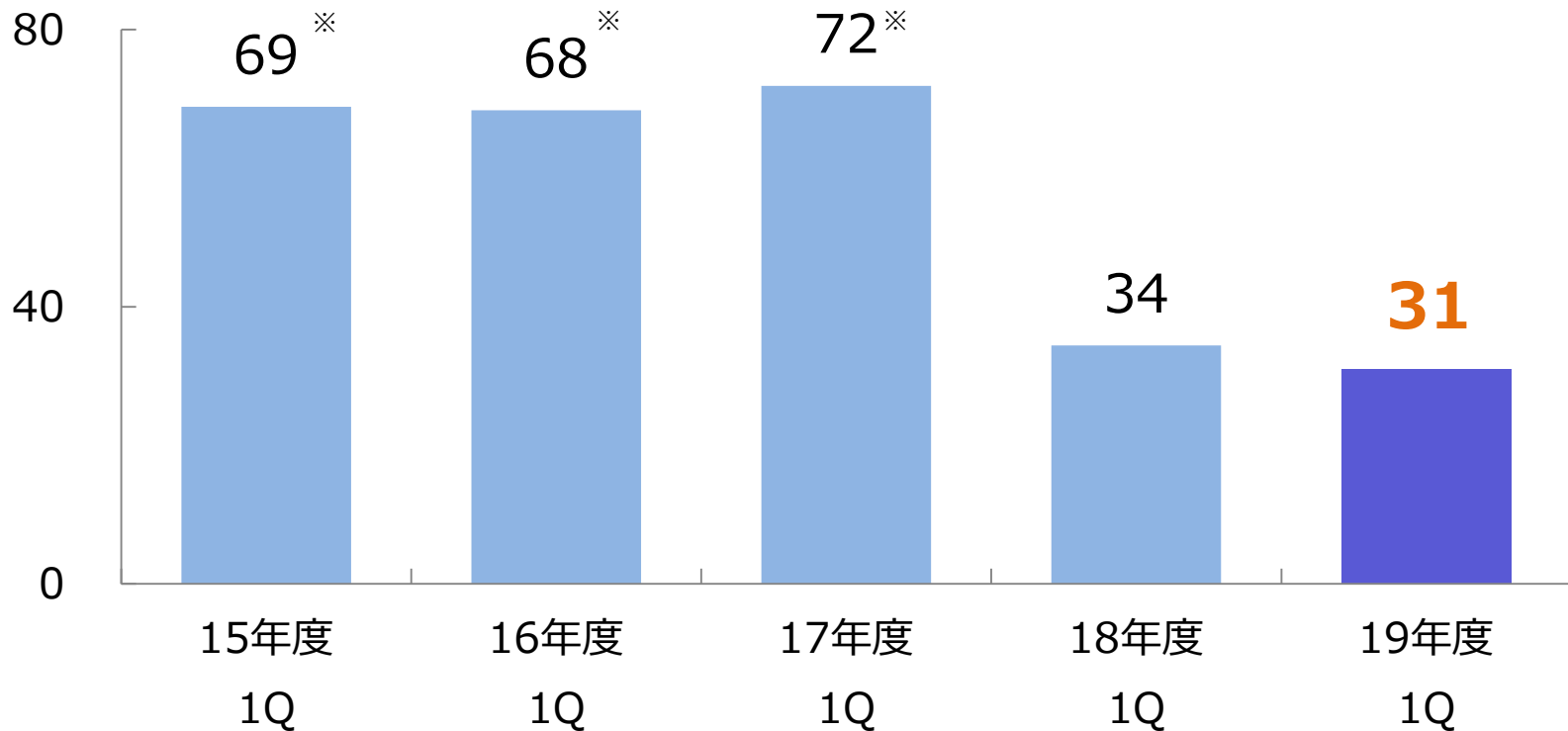
ENB

為替
影響

19年度
1Q

連結営業利益 推移

(億円)



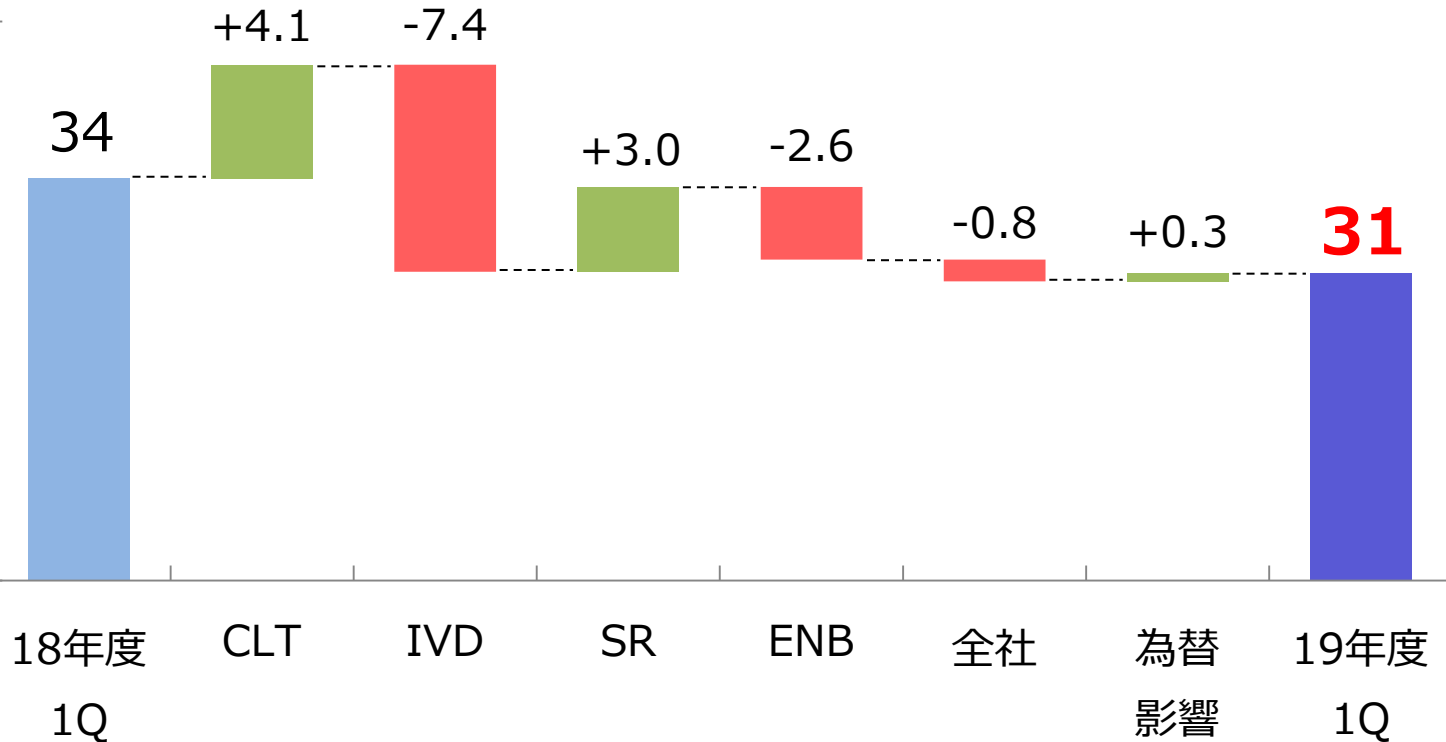
※ 海外CLTを除く

連結営業利益 対前年同期比較

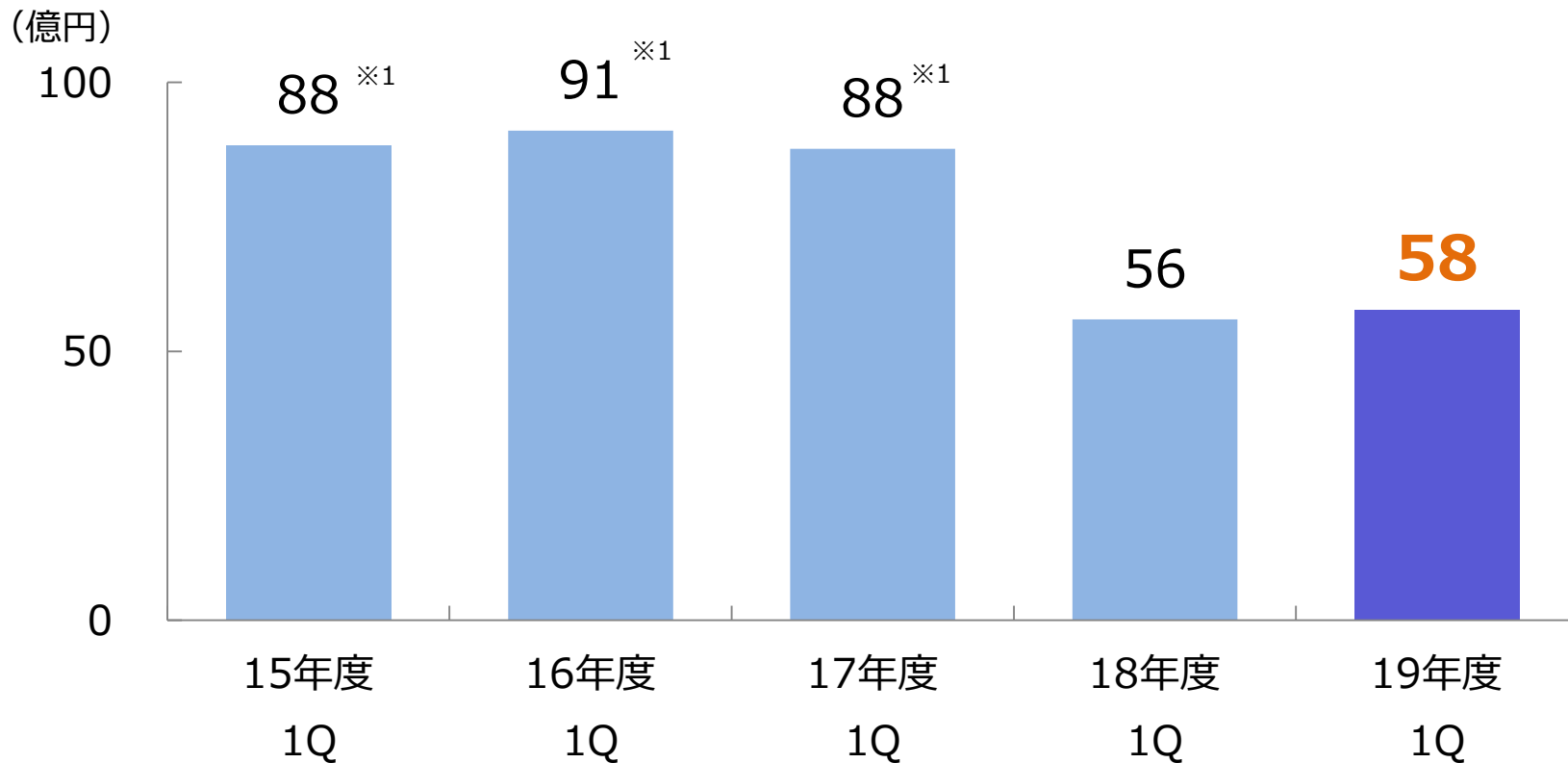
(億円)

40

20



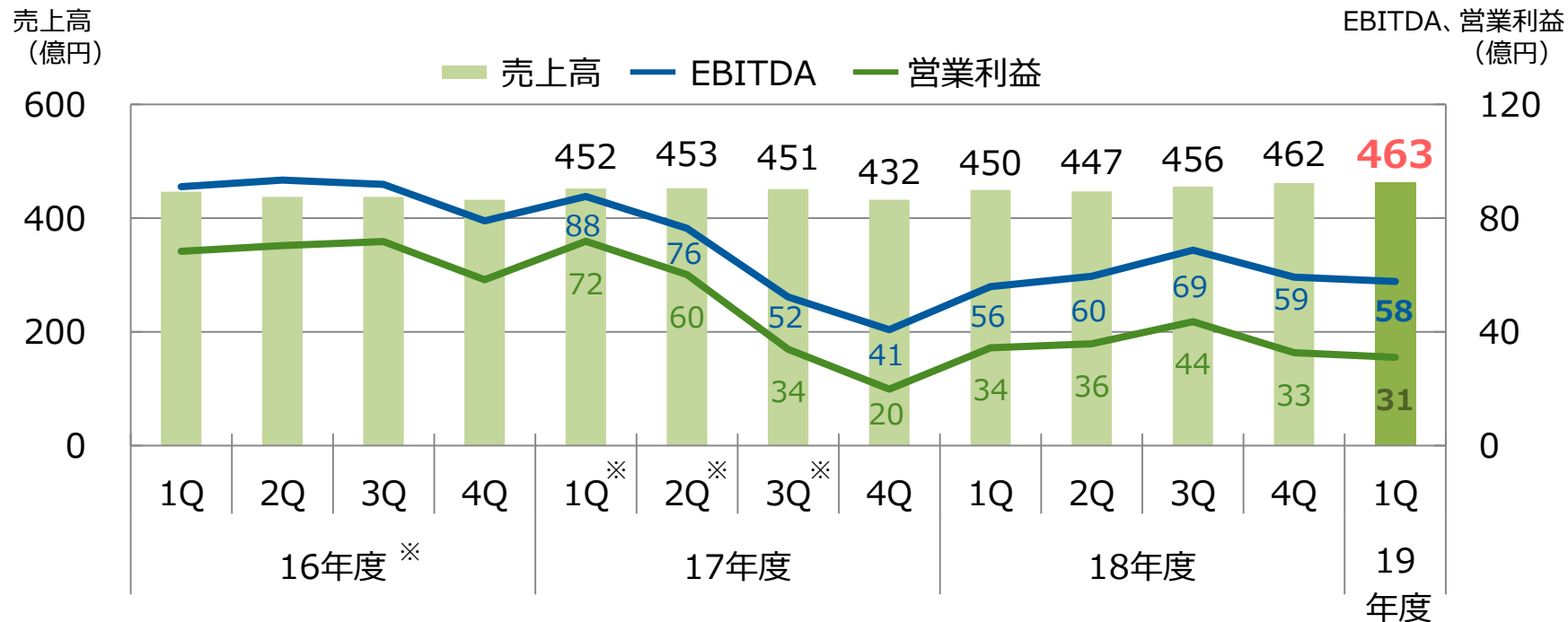
EBITDAの推移



※1 海外CLTを除く

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

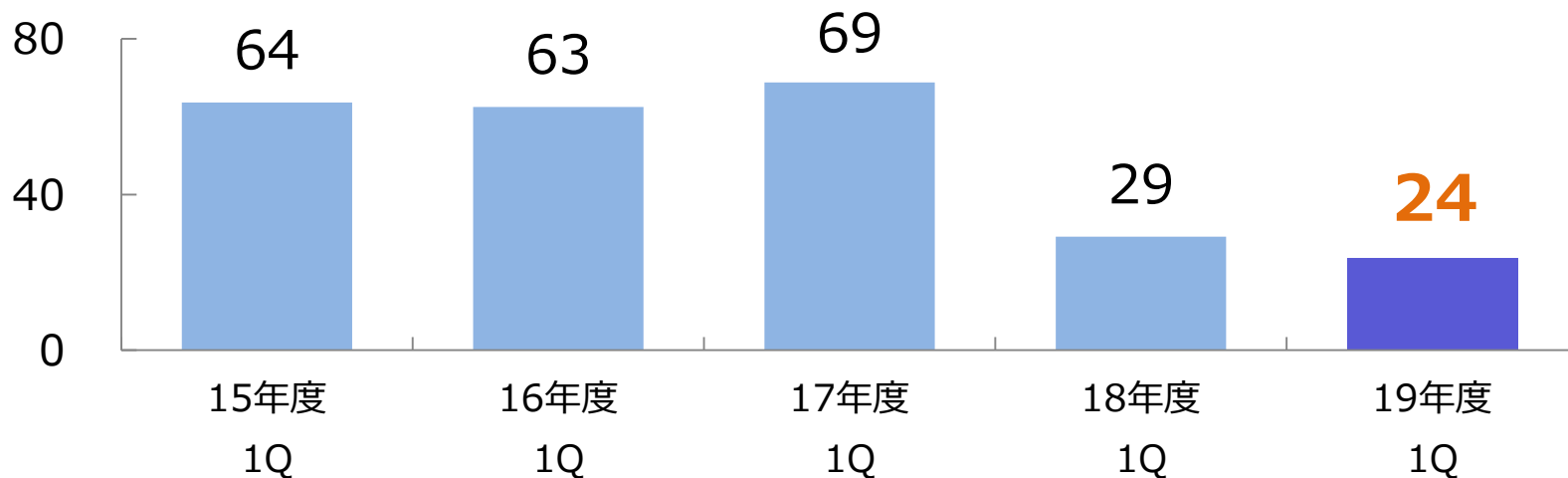
四半期毎の業績推移



※ 海外CLTを除く

連結経常利益 推移

(億円)



主な営業外損失

【2018年度1Q】

● 持分法による投資損失

▲5億円

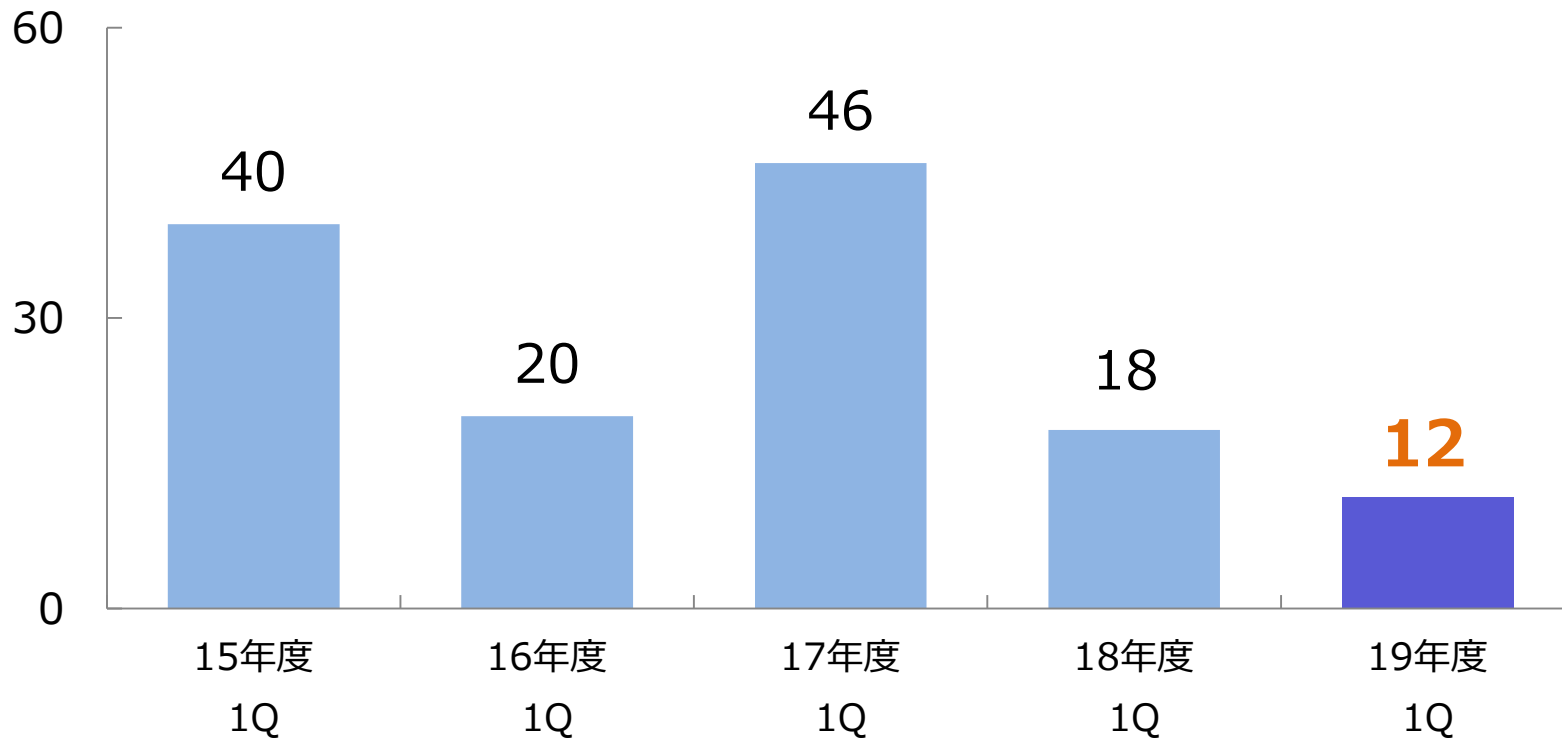
【2019年度1Q】

● 持分法による投資損失

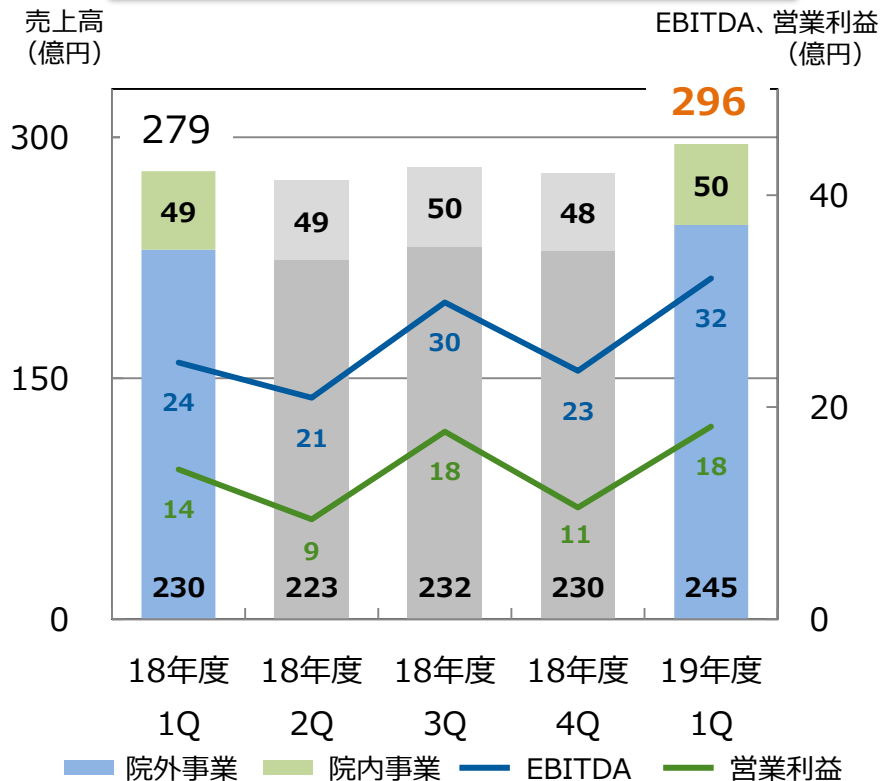
▲7億円

連結当期純利益 推移

(億円)



四半期推移



対前年同期比

(億円)

	18年度 1Q	19年度 1Q	対前年同期増減	
売上高	279	296	+16.8	+6.0%
院内	49	50	+1.5	+3.1%
院外	230	245	+15.3	+6.7%
EBITDA	24	32	+7.9	+32.8%
営業利益	14	18	+4.1	+28.8%

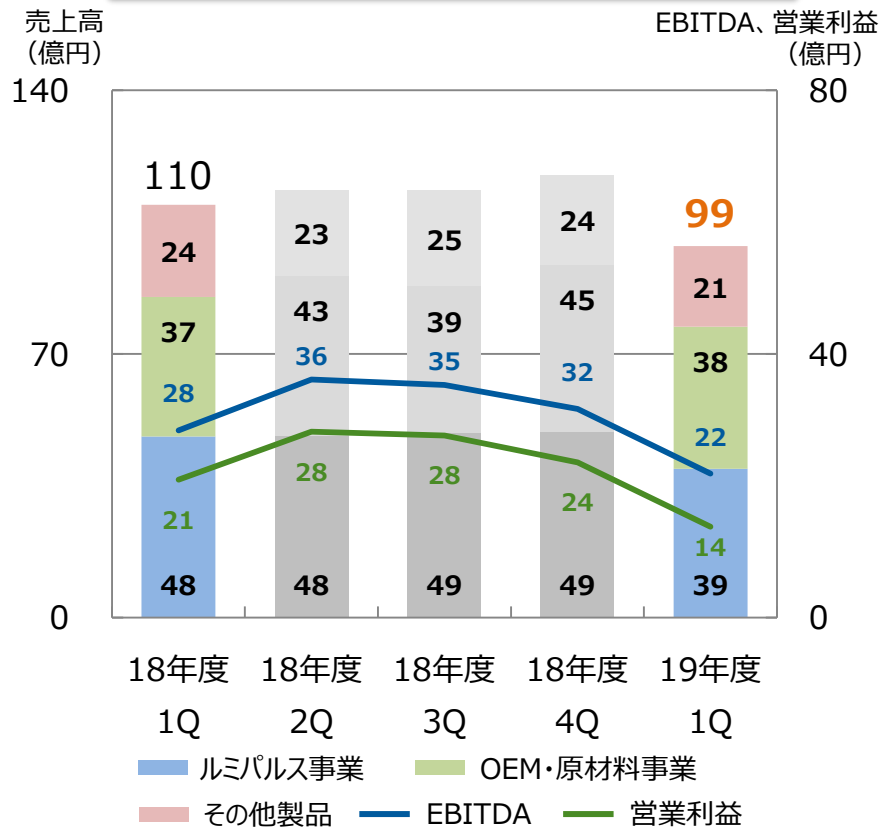
増収要因

- テスト数：+6.2%
- 遺伝子関連検査の伸長

価格影響

- 想定範囲内で推移

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	18年度 1Q	19年度 1Q	対前年同期増減	
売上高	110	99	-10.9	-10.0%
ルミパルス	48	39	-8.6	-17.9%
国内	45	35	-9.9	-22.0%
海外	3	5	+1.3	+38.5%
OEM・原材料	37	38	+0.7	+2.0%
その他	24	21	-3.1	-12.6%
EBITDA	28	22	-6.5	-23.0%
営業利益	21	14	-7.1	-34.0%

増収要因

- 海外ルミパルスの伸長
- OEM・原材料は堅調に推移

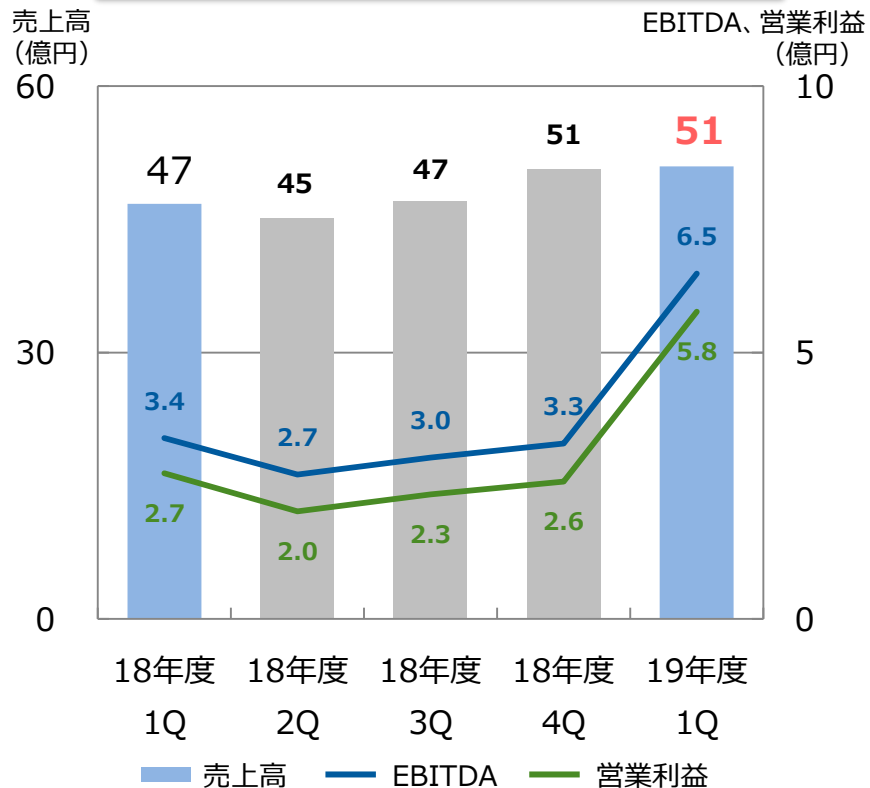
減収要因

- 日赤事業の契約終了

減益要因

- 日赤事業の契約終了
- 新規大口顧客獲得に伴う先行費用

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	18年度 1Q	19年度 1Q	対前年 同期増減	
売上高	47	51	+4.2	+9.0%
EBITDA	3.4	6.5	+3.1	+91.0%
営業利益	2.7	5.8	+3.0	+110.8%

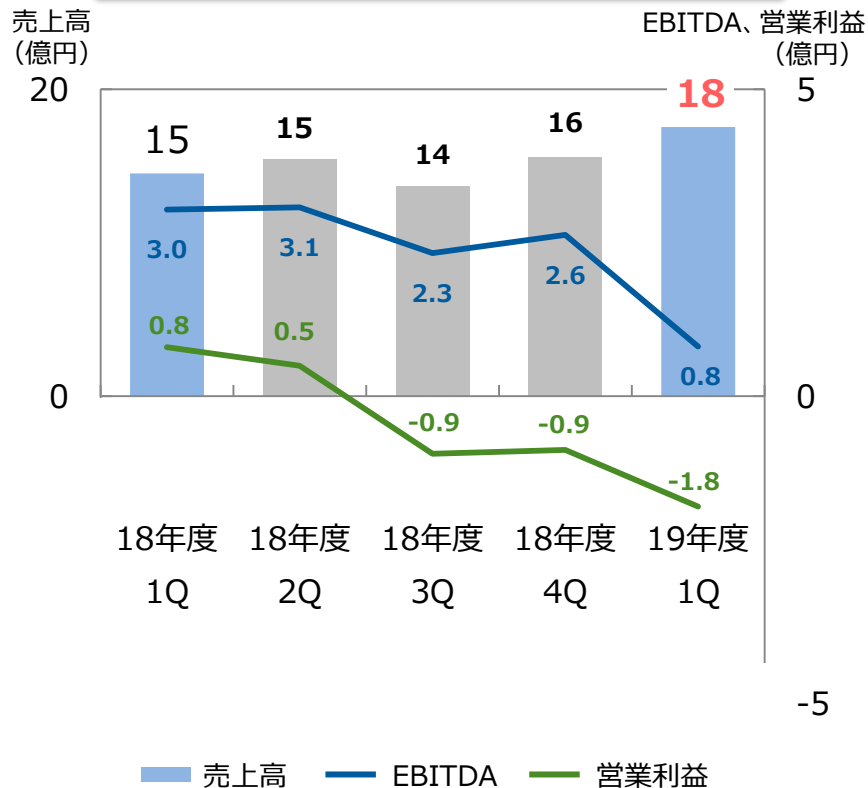
増収要因

- 契約価格見直しによる増収
- 物販の伸長による増収

増益要因

- 契約価格見直しによる増益

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	18年度 1Q	19年度 1Q	対前年同期増減	
売上高	15	18	+3.0	+20.9%
EBITDA	3.0	0.8	-2.2	-73.4%
営業利益	0.8	-1.8	-2.6	-

売上高

- セルメスタの売上が寄与
対前年影響額：+約5億円
- 地域医療センターの連結除外による減収
対前年影響額：▲約3億円

各事業の進捗

- 食品・環境・化粧品検査事業
2019年6月より営業開始

1. 平安保険グループとのJVに関する進捗について

- 平安保険グループにより3か所にラボを開設済み（武漢、合肥、広州）
- 深圳にJVラボを開設（8月）
 - 受託体制を整備
 - 今後平安保険グループが展開するラボへコンサルティングサービス等を行う予定



深圳ラボの様子



2019年8月1日 開所式の様子

2. SR事業における日の出センターの開設について

- 立川センターの老朽化に伴う移転（9月開設予定）

3. BMGLの業績について

- 月次EBITDAは改善傾向
\$US ▲2.2M（2019年1月） → \$US ▲1.4M（2019年6月）

主要KPI

				2019年度1Q	2018年度通期(参考)
CLT	院内検査受託施設 純増減数			+16	+33
	開業医顧客 純増減数			+275	+933
IVD	ルミパルス	国内 [※]	設置台数	43	150
			純増減数	-2	+30
	海外	設置台数	29	135	
		純増減数	+14	+117	
グループ内取引純増減金額 (億円)				+0.3	+2.8

※ グループ内（国内CLT院内含む）・グループ外設置の総数

対前年同期比一覽

	18年度 1Q	19年度 1Q	対前年 同四半期増減	
売上高	450	463	+13.1	+2.9%
CLT	279	296	+16.8	+6.0%
IVD	110	99	-10.9	-10.0%
SR	47	51	+4.2	+9.0%
ENB	15	18	+3.0	+20.9%
営業利益	※1 34 7.6%	※1 31 6.7%	-3.4	-9.8%
CLT	14 5.1%	18 6.1%	+4.1	+28.8%
IVD	21 19.1%	14 14.0%	-7.1	-34.0%
SR	3 5.9%	6 11.3%	+3.0	+110.8%
ENB	1 5.5%	-2 -10.2%	-2.6	-
経常利益	29 6.5%	24 5.1%	-5.5	-18.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	18 4.1%	12 2.5%	-6.9	-37.3%
EBITDA ※2	56 12.4%	58 12.5%	+1.8	+3.2%

(億円)

※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含む(18年度1Q：▲4.2億、19年度1Q：▲5.0億円)

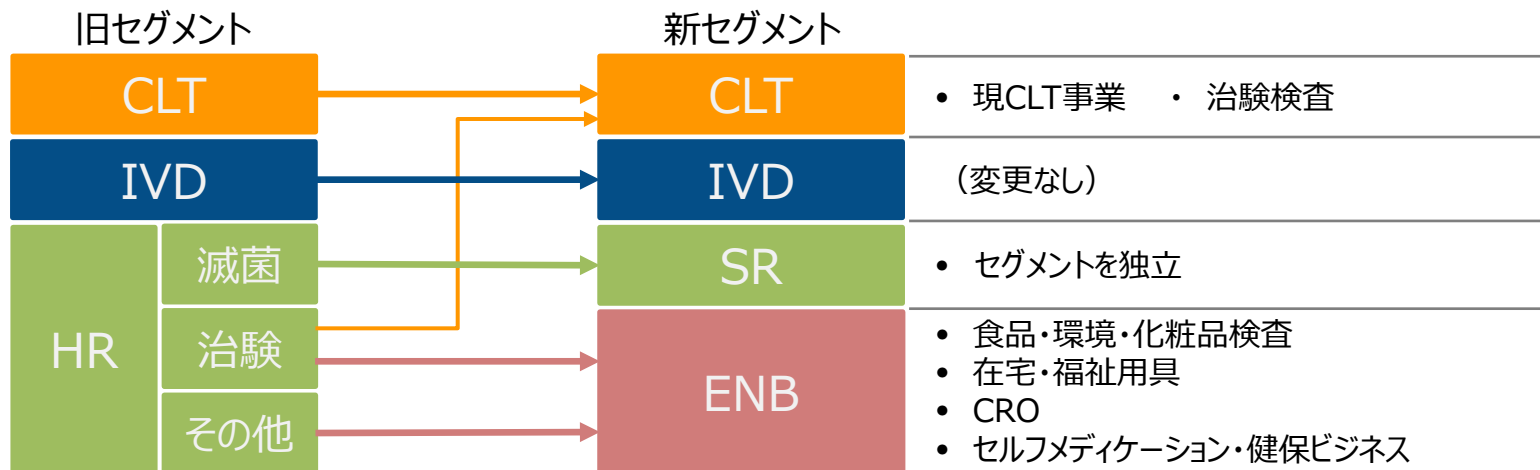
※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※3 各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率

セグメント変更について（再掲）

変更のポイント

- 新規育成事業（ENB^{※1}）を新設
- 滅菌事業を独立した単一セグメント（滅菌関連事業：SR^{※2}）へ変更
- CRO^{※3}事業を除く治験事業をCLT事業へ移管
- CRO事業は、新規育成事業に移管



【連絡先】

みらかホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部 IR/SR部 TEL : 03-5909-3337

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。